



# JAPAN REGION

Vol. 8, No. 4

JUNE 1990



達成の道へ  
“TOWARD FULFILLMENT”

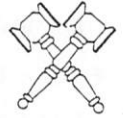
# 目 次

## Contents

リージョン大会基調演説 .....	Keynote Speech	1 ~ 3
第 8 期日本リージョン年次報告 .....	Annual Report on the 8th ITC Japan Region Activities	4 ・ 5
第 8 回年次大会の修正案について .....	On Amendments at the 8th Japan Regional Conference	6 ・ 7
第 8 回日本リージョン大会における表彰 .....	Awards	7
今期を終えるにあたって .....	Finishing My Term	8
日本リージョンの財務管理の一本化 .....	Single Treasury for Financial Management of the Entire Japan Regional Funds	9
翻訳委員会便り .....	From Translation Committee	10
広報活動より .....	From Public Relations Committee	10
祝チャーター、増設委員会より .....	Congratulations, From Extension Committee	11
ITC 世界大会準備委員会報告 .....	From Japan 1999 Convention Committee Report	12
日本リージョン特別研究委員会報告 .....	From Japan Region Research Committee	13
コリン・ドوران国際会長より皆様へ .....	Letter of Thanks from Corinne Doran, D.C.	14
日本リージョン次期選出役員 .....	1990-1991 Japan Region Elected Officers	15
第 8 回日本リージョン大会 .....	Japan Region 8th Annual Conference	15
スピーチコンテスト .....	Speech Contest Winner's Speeches	16 ~ 19
スピーチコンテストを終えて .....	Finishing the Region Speech Contest	20
大会コーディネーター謝辞 .....	Message from Conference Coordinator	20
1990 年度リージョン会則修正 .....	Bylaws Amendments	21 ~ 23
哀 悼 ジーン・ジョイス、酒井純子、角田友子 .....	In Memory	24 ・ 25
ある日の私 — 長瀬 玲 .....	One of My Days	26
編集後記 .....	Postscript	



## リージョン大会基調演説 Keynote Speech



日本リージョン会長 バルク 良子

マダム・ITCインターナショナルプレジデント、マダム・プレジデント・エレクト、お客様、会員の皆様。

人はだれもひとりぼっちで、はなれ島で住むことはできません。私達が生きている世界には多くの人があります。皆様、「群集の中のコドク」を感じたことはありませんか？ そうです。私達が毎日接している人は誰でも、心理的にも感情的にも、コドクのフィーリングをもっています。人はみんな異なった背景で、異なった考えをもち、異なった環境で育ち、「ギャップ」という島に住んでいるのです。

そのような人々をちょっと距離をおいて、離れた所で観察してみましょう。かたち、色、言葉、やりかた、習慣がみんなちがいます。私とどこがどうちがうのか、どこか同じところはあるだろうか、と、興味をもって近づいていくのです。

日本の南の島九州を旅行して、ここにだけあるユニークなかたちの草、木、花に気がつきます。同じ九州でもちょっと離れた青島には、本州や九州にもないめずらしい植物や花が咲いているのです。何千人という観光客が毎年この不思議な現象を味わうために、この島をおとずれます。

ITCのメンバー一人ひとりはこの島のようなのです。それぞれ異なった背景、目標、趣味、生活態度、人生観があり、また、時には同じように考える人もあって、本当に楽しいですね。

ある人は速くしゃべり、ある人はゆっくりお話しします。いつも早足、かけ足をしている人、ある人はいつもゆっくり歩きます。ある人は理解が早く、ある人はゆっくりしてから理解されます。この1年いろいろな人にお会いし、その人にふれ、豊かなコミュニケーションの新しい経験をし、私にとって素晴らしい収穫の、喜びの多い年でした。

どうぞこの会場のあなたのテーブルのまわりを眺めてください。いろいろな友人、旧友、親友、先輩の人達、それはまるで松島の島のように浮かんでいます。あなたのお隣りはお知りあいのかたですか？ おなじ兄弟でも親戚でもいろいろちがうのです。だからこそあなたはその家にとってスペシャルなのです。あなたがここに出席されていることは、ITCの目標である自己啓発とコミュニケーション・スキルを学び、成長し、社会還元に努力したい、またはしておられる特別な会員なのです。この点で私達は同じなのです。これがITCの基礎なのです。

人間には好奇心があり、そのかたを良く知りたいたいと思ひ、友情のかけ橋をつくるのです。一人で孤島には住めません。私達の隣りに橋づくりをする必要があります。まず心をひらき、あたたかい言葉で、ギャップの上に橋をかけることに努力しましょう。「おいでやす」、「おばんです」、「もうかりまっか」などのあいさつから、人とのふれあいの橋をかけるのです。

皆さんは今日この神戸大橋を通过这个のホテルへいらっしゃいましたね。神戸は世界第三の美し

い港で知られていますが、六甲山から見下ろす神戸と、大橋から眺める神戸と、また夜景の神戸と、その立っている場所によってちがいますね。

私は ITC のメンバーが、日本中にコミュニケーションの橋をもっともっとつくり、また全世界にかよう橋づくりに貢献出来ると思います。私達 ITC のメンバーは 21 世紀の前衛的存在であり、この社会のコミュニケーションのリーダーであると信じています。人間はどんなに科学が進歩したコンピューター時代でも、鉄のカーテン、竹のカーテンがうちこわされ、国々が統一しても、人と人のギャップをうめ、孤独感から解放されたいというニーズをもって、孤島に生きているのです。私達日本人はペーパーの上では実力を発揮できますが、社会的に対人関係の困難に直面しています。国際面でも地域や家庭内でも「はじ」「恥ずかしい」という面目のことで悩みます。「自信がない」「出来ない」「うまく話せない」とよく言います。まちがいをおそれます。人間である以上、共通することは、まちがいをおかすと言うことです。おたがいに「行いながら失敗をとおして、学び成長」するのです。おたがいに人間だから、まちがいだらけの人間ですのに、自分のまちがいよりも人のあやまち、まちがいを批判しがちなものです。

これは理解の橋、思いやりの橋づくりではなく、ギャップをもっともっと広げ、離れて行くことになりませんか。

愛する ITC 会員の皆様、まだ間にあいます。決して遅すぎません。理解しようとする心がけの橋をつくろうではありませんか？

もしあなたが許しの橋をかけるならば、ギャップはもっと狭くなり、その人が近くなるでしょう。

もしあなたが援助と協力の心の橋をかけるなら、信頼と成長のコミュニケーションが生まれ、ギャップはなくなるでしょう。

あなたと私の手の中にある、いま持っている道具で、この 2 日間、橋づくりにはげみましょう。

成功を祈ります。あなたの「達成の道へ」の橋づくりが立派に完成することを！

8th Japan Region Conference, Kobe, May 31, 1990

Yoshiko Burke, A.C., 8th Region President

Madam International President, Madam President-elect, guests and members:

"No person is an island. No person lives alone." We are surrounded by millions of people in this world. Each person, like an island, is physically separated from the others. At heart, Psychologically or emotionally, the gaps among us cause a feeling of loneliness.

We look at others from a distance and notice different shapes, different colors, and hear different sounds. A natural curiosity attracts us to notice how the other person is different or how the other person is like us. As we travel from one island to another, we notice the unique formations of each island. We are curious about the different grass, and trees and flowers. We wonder why some islands share the same kinds of plants and some islands have very different kinds of plants.

One of the attractions off Kyushu near Miyazaki is Aoshima. The island is only a few hundred meters off the coast, but the flora on the island is quite different from that on Kyushu. Thousands of tourists go there every year to observe this phenomena. We are interested in differences.

Every person in ITC is like an island having some similarities and some differences. Some people talk rapidly, some people talk slowly, some walk fast, some walk slowly. Some understand quickly and some understand in time.

Getting to know each person is a unique experience.

As we look around in this hall, we see, like islands, many different people. We don't know all of them, but each person here is somebody. Especially each person here has a hope to improve himself or herself.

In this way, we are alike. This is the foundation of ITC! But since we don't know each other, we have to follow our curiosity and bridge the gaps among us. We have to build bridges to the surrounding islands. We have to open our mouths to reach out and bridge the gaps with warm words. "Good bye, Good evening, Welcome, How's business?" is reaching out and bridging the gaps with warm words.

Some people marveled coming to Port Island, crossing Kobe Big Bridge. We get a better view of things by crossing Kobe Big Bridge. It changes our viewpoints. We all can appreciate the avante-garde leader for the 21st century, leaders in a society were people often feel isolated or lonely, needing to fill the gaps between them and others.

We Japanese love to succeed on paper but we struggle socially. On the international scene as well as at home, we often lack confidence before others.

We often fear mistakes when mistakes are one of the most common things we share when it comes to others. We are most alike in making mistakes. Yet we dare to criticize others for being like us. That create gaps instead of bridging them.

Dear ITC members, guests: Let's build the bridge of understanding and love. If you build bridges of forgiveness, you will span the gaps and draw others closer to you. If you build bridges of appreciation, you will strengthen each other across the gaps.

If you build bridges of helpfulness, the spirit of cooperation will finally close the gaps. Once these bridges have been constructed, they are all supported by the bridge of Trust. When THE BRIDGE OF TRUST SPANS THE GAPS, COMMUNICATION WILL FOLLOW SMOOTHLY.

DURING THESE TWO DAYS MAY YOU FIND AND REACH OUT AND BUILD YOUR OWN BRIDGE.

---

## 速報 バルク・良子会長 ディビジョンVI新副会長に

---



サインするバルク・良子会長

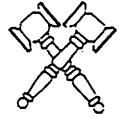
バルク・良子日本リージョン会長（神戸クラブ）がオークランドでの1990年第49回 ITC世界大会で、ディビジョンVI副会長に選出されました。これは新木昌子様（名古屋クラブ）に次ぐものです。

ITC世界大会のスピーチ部門では、中内順子様（筑波クラブ）が予選通過の榮譽を得られましたが、惜しくも入賞出来ませんでした。

なお1位に Jane Kissinger (U.S.A.)、2位に Phyllis Lane (U.S.A.) がそれぞれ入賞されました。



## 第 8 期 日本リージョン年次報告 Annual Report on the 8th ITC Japan Region Activities



リージョン書記 鈴木 みつ子

日本リージョンは今期のテーマを「達成の道へ」 “Toward Fulfillment” としてバルク良子会長のもとに出発した。

### 長 期 目 標

- 1) 日本に於ける ITC50周年の 1999年までにクラブ数を100にする。  
今期はリージョン増設委員長及びカOUNSル増設委員長の努力により、3クラブすなわち
  - a) 飛騨高山クラブ 認証番号 3454 認証年月日 1989年9月25日
  - b) 千里クラブ 認証番号 3455 認証年月日 1989年10月4日
  - c) 御影クラブ(バイリンガル) 認証番号 3464 認証年月日 1990年1月29日が誕生した。これにより日本リージョンはクラブ数53クラブになり新入会員 168名 5月10日現在で 1,374名 になった。又6月23日に岡山あくらクラブが誕生する。
- 2) 1999年に世界大会を日本で開催する  
1999年に世界大会を日本に於て開催する為世界大会特別準備委員会が盛田純子委員長のもと、7名の元リージョン会長により構成された。
- 3) リージョン特別研究委員会  
リージョン特別研究委員会は鈴木美枝子委員長のもと、七つのカOUNSル直前会長で構成された。
- 4) 英語のカOUNSルをつくる  
英語カOUNSル設立に関しては、研究、検討の結果英語カOUNSル設立準備委員会を結成することに決定した。構成メンバーは英語クラブのメンバーとカOUNSル、リージョンの役員の経験者を含むことにする。

### 今 期 の 活 動

- 1) カOUNSルNo.1が来期より二つに分かれることが承認された。  
従ってカOUNSルNo.1は：名古屋、葵、錦、栄、名城、東山、浜松、飛騨高山の8クラブとし、東京、筑波、青山、柏、千葉、サンデー、東葛の7クラブはカOUNSルNo.8に配属された。
- 2) 1989年11月1日(水)11:00より15:30まで、京都タワーホテルに於て、カOUNSル役員、常任委員長を対象とした研修会を開催した。特に今期は15部門にわたる分野に分かれ活発で有意義なセッションを行った。

### リージョン常任委員会活動

- 1) 資格認証委員会  
資格認証委員会は前期までは資格認証状況報告は年1回であったが、今期はリージョン会長の方針により年間4回の状況報告書を提出することにして、尚一層の強化促進を行った。
- 2) 広報委員会  
広報委員会はブルーの美しいリーフレットを3000枚印刷にして各カOUNSル広報委員長に送付した。又、3月5日付でバッグに入る位のサイズでクラブのPR用のカード作成について創意と工夫の要請を各クラブにした。

### 其 の 他

- 1) 今期リージョン役員の公式訪問は1カOUNSルに2回訪問した。
- 2) 事務局は今年度より業務活動が開始され「事務局業務手引き 1990年」が作成され各クラブに配布された。

- 3) 非公式に訪問の Div、VI副会長ヴィバリー・スローン様が4月2日より4月16日まで滞在、意欲的に各カウンスルやクラブを訪問して教育をした。
- 4) コリン・ドーラン ITC 国際会長が年次大会に出席のため来神され5月30日ポートピアホテルに於て RMTを行った。

☆ 今期リージョン役員会は1989年6月6日第1回暫定役員会を大会開催地名古屋に於いて行ったのをはじめ合計14回行われた。

## Annual Report on the 8th ITC Japan Region Activities

Mitsuko Suzuki, Secretary

The ITC Japan Region started its activities with the theme "Toward Fulfillment" by the President Yoshiko Burke from the 1st of August 1989.

### Long Range Goal:

(1) To increase the number of clubs up to 100 by 1999. The following three clubs have been established by the efforts of Extension Committees of Region and Councils:

- 1) Hida Takayama Club Charter No. 3454 Sept. 25, 1989 Council No. 1
- 2) Senri Club Charter No. 3455 Oct. 4, 1989 Council No. 5
- 3) Mikage Club (bilingual) Charter No. 3464 Jan. 29, 1990 Council No. 2

Consequently the number of clubs has become 53 and incoming members are 168 and the number of all members is 1,374 as of May 10, 1990.

- (2) In order to hold the International Convention in 1999 an ad hoc committee was organized under chairman Junko Morita with 7 members of the past Region presidents.
- (3) The ITC Japan Region Study Committee has been organized by seven immediate past Council Presidents under the leadership of Mieko Suzuki.
- (4) To establish an English Speaking Council has been discussed and studied. The conclusion of this project is to institute a Preparatory Committee for an English Speaking Council and it has been approved by the Region Board. The Committee will be formed by a few members of the English Speaking Clubs and those who experienced duties of both Council and Region offices.

### Activities of this Term:

- (1) It was approved to divide Council No. 1 into two councils from next year, and the following clubs will belong respectively:  
 Council No. 1... Nagoya Club, Aoi Club, Nishiki Club, Sakai Club, Meijo Club, Higashiyama Club, Hamamatsu Club, and Hida-Takayama Club.  
 Council No. 8... Tokyo Club, Tsukuba Club, Aoyama Club, Kashiwa Club, Chiba Club, Sunday Club, and Tokatsu Club.
- (2) Management Training for the Council Board members and Committee Chairmen was held at the Kyoto Tower Hotel on the 1st of November, 1989, from 11:00 to 15:30. This time there were 15 sections and each group had quite active and useful discussions.

### Activities of Standing Committees:

- (1) The Accreditation Committee has submitted four reports this year instead of once a year as was done last year in order to promote and strengthen members to join this project.
- (2) The Public Relations Committee has printed 3,000 brochures in a light blue color and distributed them to all councils. The Committee has requested as of March 5, 1990 to submit a promotional idea of name cards which would be quite helpful for ad activity to respective councils.

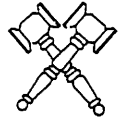
### Other activities

- (1) Official visits to each Council were carried out two times during this term by ITC Japan Region Board members.
- (2) ITC Japan Region Office started its active business from the beginning of this term and published the "Manual for Business of Region Office." They were distributed to the clubs.
- (3) The International President Corinne Doran held a RMT on the 30th of May 1990.
- (4) The ITC Japan Region Board has had fourteen Board meetings including a tentative meeting held in Nagoya on June 6, 1989, during this term.



# 第 8 回年次大会の修正案について

## On Amendments at the Eighth Japan Regional Conference

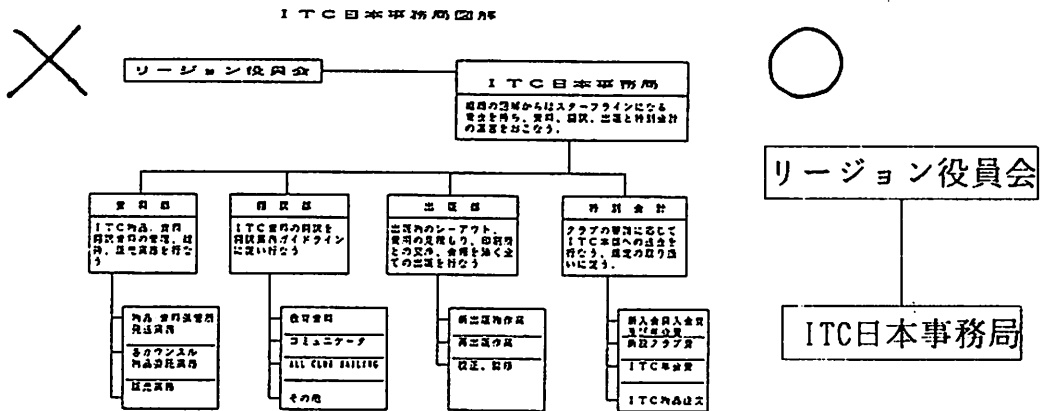


議会法規役員 置 塩 啓 子

ITC日本リージョン第8回年次大会には41の修正案と一つの決議案が審議されることになっていました。ビジネスセッションは5月31日と6月1日の2日間、3回にわかれてもたれました。

5月31日朝9時からのデリゲート・ブリーフィングの席上、ITC公式訪問者のITC会長から、「ITC役員会は日本リージョンに『サプライ・オフィス』を持つことを許可した。しかし日本リージョン常規に出てくる事務局長（アドミニストラティブ・ディレクター）というのはいずれも間違いである。ITCの世界でエグゼクティブ・ディレクターは1人である。それはアナハイムにいるミュリエル・ブライアントである。エグゼクティブ・ディレクターはアドミニストラティブ・ディレクターと同じであり、日本リージョンが持つことのできないものである。日本リージョンが持てるのはオフィス・マネジャーであり、サプライ・オフィスである。日本リージョンの常規にある事務局（アドミニストラティブ・オフィス）も事務局長（アドミニストラティブ・ディレクター）もITC会則に違反している」と言われました。

去る5月クラブ会長宛に送付された「事務局業務手引き」第1頁の「ITC日本事務局図解」についてITC会長によりまちがいが指摘され訂正をされましたので、お知らせいたします。



この大会には事務局と事務局長に関する修正案がいくつか出されていましたが、それらがITC会則に違反するといわれた今、違反している会則常規の修正を検討する段階ではなく、日本リージョンの会則常規そのものをまず見直さなければならないことになりました。それで、31日昼臨時役員会を開き、事務局と事務局長にかかわる修正案のすべてを取り下げることに決めました。提出者の諒解も得られました。そして6月1日朝のビジネスセッションで発表いたしました。

ビジネスの最後にITC会長の発言に沿って、ITC日本事務局をITCジャパンリージョン・オフィスとか日本リージョンオフィスとか、名称を変える動議が出されましたが、いずれも否決されました。この大会で、可決された修正案については、会則・決議委員会からの報告（21頁）をお読みください。

## On Amendments at the Eighth Japan Regional Conference

Keiko Okishio, Parliamentarian

One resolution and forty-one amendments were to be discussed at the conference. At the delegate briefing session at 9:00 a.m. May 31, the ITC President declared, "Permission was given for Japan Region to organize a supply office; however, 'administrative director' stated in Japan regional standing rules is wrong. In the whole ITC organization, we have only one Executive Director. That is Muriel Bryant in Anaheim. Executive Director and administrative director are the same. They mean the same thing. Japan region can not have an administrative director. Japan Region can have an office manager, and a supply office. Both administrative office and administrative director in Japan regional standing rules are in conflict with the ITC Bylaws."

The ITC President has pointed out the mistake on the flowchart in "Guidebook on the Operation of ITC Japan Administrative Office." The chart shows the line of direction between regional board and administrative office; she has made the correction (see the charts in Japanese version of the article). The "Guidebook" was sent to the club presidents last May. A number of amendments concerning the administrative office and administrative director had been submitted to the conference. Once declared to be in conflict with the ITC Bylaws, they were no longer matters to be discussed; rather, our bylaws and standing rules themselves ought to be discussed and amended first. At the extraordinary board meeting held at noon May 31 it was decided to withdraw all the amendments to the bylaws and standing rules relating to the administrative office and administrative director. Permission was given by the submitters. And this was announced at the business session on the morning of June 1. Following the direction of the ITC President, motions were made at the end of the business session to change the name of "ITC Japan administrative office" into "ITC Japan regional office" or "Nihon regional office", but no motion gained enough votes. Page 21 in this magazine presents the amendments adopted at this conference.

## 第 8 回 日本リージョン大会における表彰

### 〔1〕新入会員最多紹介者

芦原 明子(栄) 宇都宮 鏡子(九州)

### 〔2〕20年継続正会員

貴田正子(名古屋)、高田朝子(名古屋)、豊島知子(名古屋)、ジーン・ジョイス(阪神)

### 〔3〕フルメンバークラブ

東山(カウンスルNo 1) 阪神、イースト神戸、甲南(カウンスルNo 2)

岡山(カウンスルNo 4) 南大阪、千里(カウンスルNo 5)

京都、平安、都、奈良(カウンスルNo 6) 鳥取、松江(カウンスルNo 7)

### 〔4〕所属クラブの平均最多会員数のカウンスル

1位同点のカウンスルNo 6、カウンスルNo 7を表彰する。

### 〔5〕増設クラブ最多数カウンスル

カウンスルNo 5

### 〔6〕資格認証課程最多ポイントのクラブ

1位 広島クラブ(23点) 2位 豊中クラブ(11点)

3位 京都クラブ・東山クラブ(9点)



## 今期を終えるにあたって Finishing My Term



1990年7月31日

第8期日本リージョン会長 バルク・良子

「会則に矛盾している常規を正すこと。」これは、私が第7期役員会から引き継いだ課題でした。そのために、この一年間、何度も役員会をもち討論を重ねてきました。

7月6日の役員会で

- 1) 事務局をITC日本リージョン事務所に变える。
- 2) 事務局長を事務所長に変える。
- 3) 事務局会計をリージョン会計に入れて会計を一本化する。以上のことが合意に達しました。この新しい常規7をクラブに送ることに過半数の同意が得られたので、私は7月10日付で全クラブ会長へ送りました。7月27日の役員会でも再び確認されました。

ところが、7月31日に持たれた最終役員会で「7月6日に決めた常規7は違反である。」ということとで「常規7についての決議事項を撤回するべきである。」という動議が出され、可決されました。私は、全クラブ会長にこの撤回をお知らせしました。

これらのことのために、いろいろ混乱を引き起こしたのなら、お詫びします。

会則に矛盾しない常規をつくり、皆様に諮ってもらうようにすることが、今期の私の課題でした。このことを皆様にもう一度考えていただければと思います、あえて、ペンをとりました。

この一年、私を助けてくださいました皆様に感謝しますとともに、日本リージョンのこれからの発展をお祈りします。

Yoshiko Burke, A.C., Japan Region President

**"To make standing rule 7 coincide with the Bylaws" was our duty handed down from the 7th Region Board. For this homework the 8th board met many times. On July 6, at the 12th board meeting, we all agreed on the following items:**

- 1) To change the name of the administrative Office to Japan Region Office.
- 2) To change the name of the administrative Director to Office Manager.
- 3) To make one line for the treasurer by delegating the administrative Office treasurer and to have only one Region treasurer.

To send this new recommendation on article 7 was a majority vote; so I sent a letter to all club presidents on July 10th.

At the July 27th board meeting again it was confirmed, but at the last board meeting on July 31st, it was moved and carried to withdraw the recommendation on article 7 because the decision on July 6th was invalid. I sent the notice of withdrawal to all club presidents. Please forgive us for causing you much confusion by being so indecisive.

It was the duty of this term's board to let all clubs have standing rules not in violation of Bylaws. I am writing this again to ask you to please think it through and study once more.

Thank you for those who supported us and may the Japan Region continue to grow by doing the following:

Slow to suspect—Quick to trust  
 Slow to condemn—Quick to defend  
 Slow to reprimand—Quick to forbear  
 Slow to belittle—Quick to Appreciate  
 Slow to demand—Quick to give  
 Slow to provoke—Quick to help  
 Slow to resent—Quick to forgive"

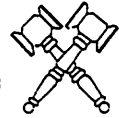
疑うに遅く、信じるに早く  
 非難するに遅く、正当化するに早く  
 傷つけるを遅く、弁護するに早く  
 責むるに遅く、耐え忍ぶに早く  
 けなすに遅く、感謝の心を早く  
 怒るを遅く、助けるに早く  
 憤慨を遅く、許し合う心を早く  
 我らITCメンバーが

「達成の道へ」と歩めるように。



## 日本リージョンの財務管理の一本化

Single Treasury for Financial Management of the Entire Japan Regional Funds



会計監査委員長 戸田 誠子

ITC日本事務局が現在事務局の運営が一部ITC会則に反しているとの指摘を受け、日本リージョンの財務を一本化することが必至となりました。この際事務局サイドで拠出金を募った積立基金は、任意に清算すべきものと考えざるを得ません。つまり積立基金 2,077,442 円は拠出者に任意に返還することになりますが、教育マニュアル積立金 885,503 円、特別会計繰越金 213,876 円、預り金である予備費 4,000,000 円は明らかに通常会計に所属する性質のものでありますから、日本リージョン通常会計に繰入れすることになります。団体活動のうち会計監査の重要性につきましては、従来ややもすればこれを軽視しがちであります。初期の会計処理につきましては正確に相当の注意をもってすることが鉄則になっております。

決算報告書の内容につきましては、すべて明瞭に公表すべきことを強調いたします。事業活動資金は会員すべての財産であることを自覚して全会員は会計報告に対する関心をもっていただきたいと思えます。

### Single Treasury for Financial Management of the Entire Japan Regional Funds

Seiko Toda, Audit Committee Chairman

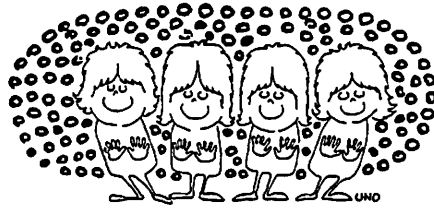
It has been pointed out that some parts of the present operation of ITC Japan administrative office are in conflict with ITC Bylaws. Therefore it is now quite natural to think that ITC Japan Office Organizing Fund, made of contributions by various members, should be dissolved. This means that the total of ¥2,077,442 should be returned to the donors if they will receive it.

The Reserve Fund for Manual Printing (¥885,503) and Special Treasure (¥213,876) are both deposits received. Judging from their purposes, they are funds which should be managed by the regional treasurer along with the ¥4,000,000 of the Reserve Fund. These three funds are to be forwarded to Japan Region General Fund.

There has been a tendency not to think seriously of the importance of audit in the activities of our organization. Accuracy and proper care are absolute rules for the foundation of the treasury. The audit committee would like to stress that the contents of the financial statement should be published accurately and clearly. It should also be remembered that the management fund belongs to the entire members; the responsibility is ours to take more interest in the financial reports.



祝  
チャーター



Congratulations!

岡山あくらクラブ (Okayama Akura Club) 1990年6月4日、No.3484にて認証。会員数：30名

会長：池田 都 岡山県倉敷市下庄428-8(〒701-01) Tel. 0864-63-0205

帝塚山クラブ (Tezukayama Club) 1990年6月1日、No.3487にて認証。会員数：27名

会長：武井美保子 大阪府泉南郡熊取町小垣内850-10(〒590-04) Tel. 0724-53-5550

出雲クラブ (Izumo Club) 1990年7月6日、No.3492にて認証。会員数：29名

会長：岩国欽子 島根県出雲市姫原町588-803(〒693) Tel. 0853-21-7123

しらさぎクラブ (Shirasagi Club) 1990年7月6日、No.3493にて認証。会員数：30名

会長：伊賀武子 兵庫県姫路市北条口3-16(〒670) Tel. 0792-22-3982



## 増設委員会より Report from Extension Committee



増設委員長 鈴木宏子

今期、日本リージョン役員会は1999年までに100クラブまで増設しようという長期目標をたてられましたので、5クラブ以上の増設を希望いたしております。

皆様の御協力で最初の目標より2クラブ多い7クラブを増設することが出来ました。

I T C大会では5月31日締切で表彰のため、3クラブ増設で世界3位となり、賞金\$25をいただいてまいりました。それ以後に増設されたクラブは来期に回されます。

一年間楽しくお仕事をさせていただきました事を、心より感謝申し上げますと共に皆様の御健勝と一層の御活躍をお祈りしております。

Hiroko Suzuki, Extension Committee Chairman

### Plan for Establishing Marketing Teams

Japan Region Board made a long range plan to extend from 50 to 100 clubs by 1999, so I wished to extend 5 more clubs during this term.

We could extend 7 clubs during this term. Since the deadline was May 31, in ITC Convention, we were given \$25 as the third prize for extending 3 clubs during this term. Clubs extended after that will be counted in the next term. I thank all members of the extension committee and other members who helped us to fulfill our aim.

- |                |   |                                |
|----------------|---|--------------------------------|
| Council No. 1: | Hida-Takayama Club was chartered, extending Chikusa OU, an English speaking club in Nagoya. | 飛騨高山クラブ誕生。<br>英語クラブとして千種OU増設中。 |
| Council No. 2: | Mikage Club was chartered   | 御影クラブ誕生。                       |
| Council No. 3: | Shirasagi Club was chartered.   | しらさぎクラブ誕生。                     |
| Council No. 4: | Okayama Akura Club was chartered.   | 岡山あくらクラブ誕生。                    |
| Council No. 5: | Senri Club, Tezukayama Club was chartered.  | 千里クラブ、帝塚山クラブ誕生。                |
| Council No. 6: | Researching   | 現在検討中。                         |
| Council No. 7: | Izumo Club was chartered.   | 出雲クラブ誕生。                       |



## I T C 世界大会準備委員会報告 Japan 1999 Convention Committee Report



世界大会準備委員会委員長 盛田 純子

私共委員会は、バルク会長の1999年に日本に於いて世界大会を開きたいという構想を受けて、相談の結果、まず大会についての知識 — 例えば立候補に必要な資格や財政上の問題など — を得るために、昨年12月 I T C 本部に問い合わせました。

ミュリエル・ブライアント事務局長から、それに関して親切なお返事が返って参りました。I T C 役員にかかる費用はどこからまかなわれるかということ、準備委員会の構成に関する事、ホステス・リージョンに掛かってくる費用のための何等かの資金集めの方法を考えねばならないこと、特に英語圏でない日本リージョンの場合には多くの通訳を要するので、その点もよく考慮せねばならないこと、晩餐会のために約1,500人収容出来る他教育セッションのための部屋を持ったホテルが必要であり、しかも東京のような物価の高いところは問題外であること等の予備知識を得ました。又、本部の意見として、今の時点で1999年のことについてプランをたてるのは無意味であること、日本の物価高や日本リージョンの状況から考えて、日本での大会開催にあまり積極的でないことも解りました。

以上のことを、本年2月の定期報告でバルク会長に報告し、同時にこの返信にもとづき委員会で検討の結果、今年度の世界大会は米国外で開催され、色々の点で参考になると思われるので、大会後その資料をいただき、リージョン役員会に提出することにしました。

なお、この委員会の構成メンバーが元リージョン会長ばかりなので、もし来期も存続させるならば、10年先に活動できる若い会員を中心に、そこにリージョン役員・コーディネーター経験者或いは世界大会に出席したことのある方々を加えるという委員会の構成を考えられることを提言したいと思います。

**Junko Morita, Convention Committee Chairman**

**This Committee was appointed to study the idea of President Burke to hold an international convention in Japan in the year of 1999. In order to stand as a candidate for holding a convention in Japan, a letter was written to ITC Headquarters for information as to qualifications and financial problems.**

**Executive Director, Muriel Bryant, kindly gave us a reply and advised us that the cost of the welcoming party and related expenses must be considered and plans must be made for accumulating such funds. Especially, since the Japan Region is not in an English speaking country, consideration must be given to provide many interpreters for the convention. A hotel with convention facilities for banquets up to 1500 in attendance must be available where the costs are reasonable. She also wrote that Tokyo would be out of the question because of high hotel and meal costs. Her letter further stated that 1999 is too far distant to be given serious consideration and advised that the committee should not be working on anything specific at this time. The committee felt that the opinion of Headquarters was not positive for holding a convention in Japan because of the high cost and the circumstance of the Japan Region.**

**As a result of deliberation, the committee came to a conclusion that New Zealand Region which is hostessing the Convention this year will be contacted for information on how they planned and worked to hold the convention in their Region, and this information will be reported to the Region Board.**

**In regards to the composition of this committee, it is made up of all former regional presidents. If this committee is to continue next term, the Committee recommends that the members be chosen from a younger set of members as well as members with region officer's experience and members who have attended various conventions over the past years to make up a well balanced committee composition.**



# 日本リージョン特別研究委員会報告

## Japan Region Special Committee Report



1990年6月1日

特別研究委員会委員 桑原美紀子

この委員会は、去年の各カウンスル会長7名によって構成されています。

任務としては、

- 1) 日本リージョンの法人化の可能性について考える。
- 2) 事務局と事務所のあり方について考える。
- 3) ITCの活動を考える。
- 4) 委員会の任期は2年とし、1990年7月に、2年目の委員会の構成を考える。
- 5) 年2回(2月、5月)に役員会に報告書を提出する。予算は15,000円。

以上が私達委員に与えられた任務です。今日までに3回会合を持ち、日本におけるITCの現状および将来について熱心に討議して参りました。

現在“1999年に100クラブを作る”を目標にしている日本リージョンとしては、多くの問題点を抱えております。従って委員会の目標としては、少なくとも10年間は、基本的に変わらないような、21世紀につながる組織を考えたいと思い、幾つかの提案事項を役員会に報告いたしました。

- 1) に関しては、法人化の問題ですが、ITC本部が法人であるので支部の法人化は出来ない事がわかりました。
- 2) 事務局と事務所のあり方については、組織の拡大と共に慎重に合理化を考えてゆかなくてはいけないと思います。
- 3) ITCを考える。これは日本におけるITC活動にしばって考えて参りました。教育プログラムを充実するための方法論、ますます遠隔地を抱える日本リージョンとしての将来については、長期展望に立って、考えるべきではないでしょうか。

さて、私達7名の委員には、リージョン役員の経験者はおりません。それだけに拘束されない自由な発想で意見の交換が出来たのは、有意義であったと思います。尚ITC会員として広い視野で考えてゆきたいと考え、リージョン役員として活躍頂いた方々や、事務局の運営に携わっておられる経験豊かな方々、及び各カウンスルのメンバーの協力を頂きました。そのアンケートを基にして基本方針を作成して参りました事を報告し、皆様のご協力に感謝いたします。

— 第8回リージョン大会報告より —

May 1, 1990

Mikiko Kuwahara, One of the Committee Members

This Committee consists of 7 past Council Presidents.

Duties are:

- 1) To consider the possibility of Japan Region Incorporation.
- 2) To consider the work of Japan office and administrative office.
- 3) To consider ITC activities.
- 4) Duties of Committee are for two years. (Reconsider the members after July of 1990.)
- 5) To submit two reports to the board (Feb. and May). Budget is ¥15,000.

With the above duties in mind, we met 3 times until June and researched diligently.

The long term goal of 100 clubs in 1990 Japan Region has many problems.

The goal of this committee is considering goals for the next 10 years that will not change. To consider the organization for the 21st century, the committee recommends the following items:

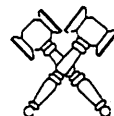
- 1) We can not become incorporated, because ITC in California is in corporated.
- 2) As the organization grows, we must think practically of the office and administrative office.
- 3) Our consideration of ITC is limited only to activities in Japan. What methods of Education can we use to fullfill our program. We must think for the long term as we consider clubs located in remote areas.

All 7 committee members were never Region Elected Officers. Therefore without limit we freely exchanged opinions. This was a good point. We appreciate very much many of the Region officers' valuable opinions and council officers advice and suggestions who were in office.

We have based this report on their questionnaires.



Letter of Thanks from Corinne Doran, D.C.  
International President 1989-1990



To: Japan Region Board, Members of Japan Region

What a delight it was for me to attend the Japan Region Conference! It truly was an outstanding event and the Conference Coordinator, Kazuko Izumi, is to be commended for her hard work and the smooth running result.

I was especially pleased to see so many members in attendance and to have such a large number of officers and committee chairman at RMT and CMT.

The hotel facilities were lovely and the service and food excellent. All the rooms used were pleasant and the hotel room assigned to me was very nice.

From the welcome at the airport until Sayonara at the airport, you made me feel comfortable and at home. I know I have made many new friends and cannot thank you enough for your many gifts and kindnesses to me.

The sightseeing was grand. I loved staying in a Japanese house and sleeping on a futon, even if it was on top of a table. Shogun's Palace was awe inspiring and the temple interesting. The trip to the mountains and to the big lake was truly beautiful.

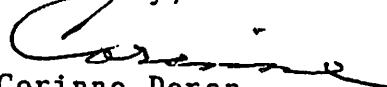
How can I really thank you for all the lovely gifts. I would like to write to each of you, but in some cases do not know the names or addresses. So please consider this a very heart felt thank you for all the lovely gifts, sightseeing, fun, friendship and love that you shared with me.

Japan Region is a wonderful fast growing region. Your gift to the Endowment Fund was outstanding. Again, a simple thank you does not seem adequate for your generosity.

I expect much growth and improvement this next term under the capable leadership you have elected. Each member of the Japan Region is to be congratulated.

See some of you in New Zealand.

Sincerely,



Corinne Doran  
ITC President

日本リージョン役員及びメンバーの皆様へ

日本リージョン大会に出席できたことは、なんと嬉しいことでしょう。大会は真に素晴らしいイベントで、コーディネーター泉和子様のご尽力により、大会がつつがなく終了いたしましたことは賞讃に価するものです。

多くのメンバーが大会に出席されているのを拝見し、又RMTやCMTに多くの役員、委員長が参加されているのをみて、特に嬉しく思いました。

ホテルの施設はすばらしく、サービス・食事共に最高でした。私の滞在した部屋を含む、使用した全ての部屋はすばらしいものでした。

空港でのお出迎えから、お見送りいただいた時まで、私はまるで我家にいるかのように寛ぐことが出来ましたし、又十分にお礼を言えない程、たくさんの贈りものや親切を頂戴いたしました。

思わぬ観光もできました。日本の家屋に滞在し、布団で寝たのも楽しいことでした。二条城には畏敬の念をいだきましたし、又京都のお寺は大変興味深いものでした。そして美しい山々や大きな湖も……。

私のいただいた贈りものに対し、どうしたらお礼を言うことができるでしょう？ 皆様お一人お一人にお礼状を差し上げたいと思うのですが、お名前やご住所がわかりません。この紙面をかりまして、お礼を申し上げたいと思います。

日本リージョンはすばらしく発展を遂げております。又多くの寄付もなさいました。皆様からいただいたご支援に対する感謝の気持ちは言葉では言い表せません。

皆様がITCで必ずや賞讃されることと信じてやみません。

ニュージーランドでお会いできるのを楽しみにしております。

1990-1991 ITC 日本リージョン次期選出役員

1990-1991 Japan Region Elected Officers



今井千代子 星野 佐登  
白江圭穎子 常田 道子 広瀬 忠子 小林 令

会 長	広瀬 忠子(阪 神)	President:	Tadako Hirose (Hanshin)
次期会長	常田 道子(京 都)	President Elect:	Michiko Tsuneda (Kyoto)
第一副会長	白江圭穎子(芦 屋)	1st Vice-President:	Keiko Shirae (Ashiya)
第二副会長	小林 令(東 京)	2nd Vice-President:	Rei Kobayashi (Tokyo)
書 記	星野 佐登( 葵 )	Secretary:	Sato Hoshino (Aoi)
会 計	今井千代子(青 山)	Treasurer:	Chiyoiko Imai (Aoyama)

第 8 回日本リージョン大会



開 会 式



祝 辞  
兵庫県知事 貝原俊民様



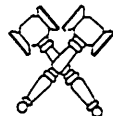
コーディネーター 泉 和子  
コ・コーディネーター 柳川公子



バルク良子会長から  
広瀬忠子次期会長へ



受 付



英語の部 1 位

Subject: Do Something

Title: The Way to the Well of Hope

Junko Nakauchi, Tsukaba club

Nepal. The summer sun blazes high above on the horizon, casting morning shadows on the dusty earth. Villagers bustle about carrying clay pots and whispering among themselves in anticipation of the miracle. Innocent eyes of small children with dirty faces watch the machines. Suddenly a man shouts for joy as fresh water gushes from the pipe. The well is finished.

The idea of the well originated in the mind of one young Japanese man two years before. When he heard of the miserable living conditions in Nepal, he was driven to do something about them. But first, to understand the real needs of the community, he lived among the villagers for months. He shared the suffering of their daily lives, and earned their respect with his humility. The idea of digging a well came last.

The true story of this Japanese man and his well suggests an important lesson we ought to consider when we think about offering economic aid to the so-called developing countries. He suggests that real assistance is not merely giving a large amount of money or convenient, well-made material goods. The important thing is to encourage and support the natural desire of people to be independent and self-supporting.

It is true that Japan has become a world leader among nations, and its economic power is greater than ever. But how many people recognize our human responsibilities as well? Let me give you some specific examples.

I recently read a newspaper article about pollution in the ocean around an island in the Philippines. The cause was a chemical plant associated with a geothermal power station built by the Japanese government. Exhaust water containing sulfurous acid from the plant poisoned the ocean, killing the fish and other marine life on which the fishermen depended for their economic livelihood. The islanders became frightened and angry about the environmental damage which endangered the people's daily lives. They protested against the Japanese lack of concern for nature. I deeply regret that under the banner of economic aid, we sometimes cause serious social problems in other countries. Aren't we doing the same thing in China, Indonesia and Thailand?

If we respect people, we should stop it right now.

The lives of people are much more important than governmental decisions.

Another matter of concern is the fact that people in developing countries are becoming afraid of being exploited by Japan. Their land is not our land. As long as we continue a relationship built upon material gain alone, the future will not bring goodwill and friendship.

We should make efforts to win trust by showing social responsibility from the beginning. Then a more harmonized economic prosperity will be brought about without upsetting human feelings and the balance of nature.

One thing we can do now is to know more about what we have done in the past, what we are doing now, and then decide how we can help in the future. Discuss common issues with friends from other Asian countries. Listen carefully to what they say. Though I am not a specialist or politician and the source of my information is limited, I believe we can see the truth better from the kitchen window.

Second is to express our opinions with confidence and petition our representatives to use economic funds in more a humanitarian ways.

I would emphasize that there is no inferiority and superiority in our relations. Only wisdom and a conscientious mind will always be valued as that Japanese man showed us in Nepal.

Through this experience, I strongly feel that international communication and cooperation must be encouraged not only between governments but also between ordinary citizens.

Let's all return to the equal starting line to establish a new global community for a better future, then.

We will surely find the way to the Well of Hope.

## 「希望の井戸に至る道」

中内順子(筑波)

ネパール。夏の太陽が照りつけ、地上に影を投げつけている。村人たちは、水差しを抱えて、せわしく行き来し、奇跡が起こるのを待って、ささやきあっている。よごれた顔の子供たちの無邪気な瞳は、ひたすらその機械をみつめている。突然一人の男が喜びの声をあげ、水がパイプから吹き出した。井戸が完成したのである。

井戸を掘るといふ思いつきは、そもそも2年前に一人の若い日本人男性が考えついたことである。ネパールの困窮した生活状況を聞いた彼は、何かせすにはいられなかった。しかし、まず人々が何を本当に欲しているかを知るために、彼は何か月も村人たちと起居を共にした。彼らの生活の苦しきも共に味わい、村人たちからは一目おかれるようになった。井戸を掘るといふのは、その結果生まれてきたものだ。

この実話は、私たちがいわゆる開発途上国と呼ばれている国々に対する経済援助を考える上で、留意しなければならない大切な教訓を示していると思う。彼は、真の援助はただ単に多額のお金や、便利でよくできた製品を与えることではないと示唆している。重要なことは、人間の生来の欲求である。自立、自助をうながし、それを支える援助が必要とされているということである。日本が、世界のひのき舞台上で指導的地位に立っていることは、周知の事実である。その経済力は、かつてなく大きなものになっている。しかし、どのくらいの人がその役割のもつ責任を認識しているだろうか？

例をあげてみよう。最近私は、新聞記事でフィリピンのある島の海で起きている公害について知った。原因は、日本の政府開発援助によって設置した地熱発電所と一体で建設された化学プラントである。亜硫酸ガスを含む工場排水が海に流れ込み、漁師たちの生活を支えている魚類や海生動物は、絶滅の状態に追いこまれている。島民は、健康はもとより、生活をもおびやかす環境破壊におどろき、怒りを示した。彼らは配慮に欠けた日本人及び日本政府に反対を唱えている。住民が指摘する公害を援助国として放置してよいのか。私自身、経済援助の名のもとにいつのまにか私たちが他国で重大な社会問題を引きおこしているのではないかと、深くなげき、考え込んでいる。日本は、中国、インドネシア、タイなどで同じようなことを行っていないだろうか？もし、人々の生活を優先したいと考えるなら、今すぐやめるべきだ。人々の生活は、政府の政策よりもっと大切である。

もう一つ気になることは、そういう開発途上国の人々が、日本が利益を搾取しているのではないかとおそれている事実である。彼らの土地は、私たちの土地ではない。もしこのまま物質獲得優先主義でつきすすむなら、善意も友情ももたらされないだろう。事を行うにあたり、はじめから社会的責任をはっきり示して、まず相手の信頼を得る努力をしなければいけないと思う。そうして、いたずらに人々の感情や自然のバランスをこわすことなく、より調和のとれた経済繁栄がもたらされるのではないだろうか。今、私たちができることは、経済援助に関して過去にしたこと、今やっていることをよく知り、その上で将来どんな援助が可能かを定めることである。身近にいるアジアの留学生と話をしてみようではないか。彼らの言うことによく耳を傾けてみよう。私は専門家でもなければ又政治家でもない。又、入手できる情報も限られてはいるが、それでも台所の窓からだって真実は見ると信じている。

二つめは、自信をもって意見を述べること、そして代表に働きかけて、より有効な経済援助の方法をさぐるあとおしをしよう。援助する側と援助される側との間に何ら優劣の関係はない。ただあるのは知恵と良心であり、それこそが、あの日本人青年がネパールで示したように、最も評価をうけ、生かされるべき根本原理だと思う。このことから、私は、国際交流や国際協力に関しては何も政府間だけの公的なものばかりでなく、一般の市民同士の交流が、もっと奨励されてもよいと思っている。これからますますさかんになる経済活動に関しても、共同体としての市民生活こそまず優先されるべきだ。よりよい将来の発展にむけて、新しい地球的規模の生活共同体をつくる気持ちで、私たちは新しい出発点に立とうではないか。きっと希望の井戸に至る道はみつかるだろう。

## 日本語の部 1 位

(論題) 自問自答

(題目) 誰のために

大野 三恵子 (京都)

新しい言葉を次々に作り出す日本で、また新語がうまれています。皆様は「わしも族」という言葉を御存じですか？私はこの言葉を聞いたとき、勇敢な鷲のような方なら一度お会いしたいものだ、と思っておりました。ところが、この「わしも族」というのは、定年退職した男性が、家にいても自分のお茶もいれられず、食事も作れないので、妻が出かけようとする、「わしも行く。」とついに行く夫のことを言うのだそうです。まさに恐怖の「わしも族」です。

先日ビバリーヒルズから来られた御夫妻ケンとダイアンを我が家に三日間おとめました。ケンは50歳の弁護士です。朝食の準備をするために私が台所に立っていると、まず起きてくるのがケンです。「三恵子おはよう、ばくに何かお手伝い出来ることは？」というのです。人の好意を決して断らない私は、「ありがとう、お願いします。テーブルにランチョンマットをひいて、お皿とコーヒカップ、スプーンにフォーク、ナプキンを並べてくださいな。次は豆を挽いてコーヒーをいれてね。」ケンは口笛をふきながら、楽しそうに見事にセットしてくれました。次にサラダ用の人參を細く切っていると、「ばくにもさせて、お料理が好きでパスタでも何でも作れるんだよ。」と申します。お家にはお料理の上手なメイドがいらっしゃるといふのに。

ああ、お茶もいれられない日本の男性と、初めて泊まる家で手伝おうというアメリカの男性の違いはどこからくるのでしょうか。

アメリカ大陸を開拓し、男女が共に国を作ってきた人々の歴史と、武士の封建社会のまま、長く異文化にふれずに来た島国日本の歴史との違いなのでしょう。わが愛すべき武士の末裔日本の男性がどうして「わしも族」になってしまったのでしょうか。

私たちが子供を育てる時、確かに自分のことは自分でさせるように躾をしてきた筈です。脱いだ服はきちんとたたみ、だした玩具は元の所に片付ける。息子がボーイスカウトに所属していた時には「キャンプの用意はすべて自分でさせてください。朝もお母さんが起こしたりしないで下さい。もし忘れ物をしたり、遅れたとしても、その経験を通じて子供は成長するのですから。」とリーダーがよく言われました。

その反対に私の友人にこんな人がいます。彼女の夫が出張や海外旅行に行く時の準備はすべて妻、夫の靴下をはかせてあげる、みかんを食べる時はその小さな袋をむいてあげる、お魚をだすときは骨と身をわけてあげる、夫が歯をみがこうとすると歯ブラシには歯みがきがのっている。私に言わせてもらうなら、これは幼い子供か、手足の不自由な人にしてあげることだと思うのです。何もかもしてあげるのがやさしい妻、というグッドガールコンプレックスに陥ってしまうと、してあげないのは思いやりのない悪い人間のような気になってしまうのでしょうか。実はそういう人が、しっかりと未来の「わしも族」を育成しているのではないのでしょうか。幸いなことに、私の夫はお茶碗洗いもお風呂掃除も、アイロンかけだって楽しそうにします。でも男性がこういうことをするとき、やらされている、とか、してやっている、という意識を持っているとしたら不幸です。

ひとつの例として、我が家の玄関に沢山の靴をぬぎちらかさないように、ぬいだら必ず自分で片付けるようにと申し合わせました。私が夫や息子の靴を片付けることくらい、何秒もかかりませんし、いとも簡単なことです。でも自分のことは自分でする第一歩のために、私は息子に「今あなたの靴が三足も出ているわ、一足を残して後は片付けなさいね。」と根気よく言います。片付けてしまいたくなるのをじっと我慢しながら。

そして、こういうことはどこまでが彼の為で、どこまでが私の為なのか、このやりかたは、はたしていいのか悪いのか、自問自答しながら自分と戦っています。

### Mieko Ono, Kyoto Club

In a Japan where new words are turned out one after another, yet another word is coming into existence. Has anyone heard of the expression "Washi mo zoku?" When I first heard this expression, I thought that if it means a person like a brave bird, it would be someone I would like to meet. However, what it really means is a retired man who, even though he's in the house, can't pour his own tea or cook anything for himself. Whenever his wife announces that she's going out, he quickly says "I'll go too! Washi mo!" Truly a frightening sort of "eagle!"

Recently, Ken and Diane, a couple from Beverly Hills, stayed in our house for three days. Ken is a fifty year old lawyer. While I was standing in the kitchen to get breakfast ready, Ken was the first to wake up and come downstairs. "Ohayo Mieko! Can I help with anything?" he asked. As I'm someone who never refuses another person's good will, I responded "Yes please, thank you. Please put out the mats on the table, and then set out the plates, coffee cups, spoons forks and napkins. Then, can you grind the coffee beans and make some coffee?"

Ken, whistling and smiling while he worked, set a beautiful table for me. Then, as I was slicing some carrots for a salad, he said "Let me help! I love to cook. At home I make pasta and pizza and all sorts of things!" They even have a maid at home who's a good cook!

So, where in the world did this difference between the Japanese men who can't pour tea for themselves and American men who, even when they're guests, offer to help right away come from.

I wonder if it has occurred because as the Americans settled their continent, they built up a country with men and women who shaped the land together. However, in Japan, there is a completely different long, practically unchanging tradition of warrior's feudalism. How did these "me too"; men descend from the proud warriors whom we all love?

When we rear our children, it's always expected that they take care of their own things. They're always taught to fold their clothes up nicely and to return their toys to their proper place. When my son joined the boy scouts, the scout leader often told me, "Please have him make all preparations for camp himself. In the morning, don't wake him up for camp. If he leaves something behind, or even if he's late to camp, the experience will help him grow up."

In contrast, let me tell you about a friend of mine. Whenever her husband goes on a business trip or vacation, she packs everything for him. When he eats oranges, she peels the skin off, and when he eats fish she takes out all the bones for him. She puts the toothpaste on the toothbrush for him, and even takes his socks off for him! It seemd to me that this is what you would do for a small child, or a handicapped person. . .but a full grown competent adult?

It seems that many women suffer from the "Good Girl Complex." Can it be that we think a good wife is one who does everything for her husband, so if she doesn't do everything, she's not a good person? In actuality aren't these "good girls" raising up future "washi mo zokus?"

On a happier note, my husband happily does the dishes, cleans the bathroom, and irons his clothes. However, if men when they do these things act as if they are forced to do so, or only do so grudgingly, then it really doesn't help the situation much.

As another example, so that shoes won't pile up in the genkan, we have decided that everyone should put their own shoes away. It would really be an easy thing for me to put my husband's and son's shoes away, and it wouldn't take more than a few seconds. However, to get them started on taking care of their own things, I often say things to my son like "You have three pairs of shoes out now. Leave one out and put the others away please." But even while I say it, I have to fight back a desire to just do it myself.

As I do so, I ask myself just how much of this is for his own good, and how much is for my own good, and whether things will ever change. . . .

英語の部 2位

加藤 佳子(イースト神戸)

Subject: Hopes

Title: Hope-to live naturely

日本語の部 2位

白江圭穎子(芦屋)

(論題) 気迫

(題目) 今更族の青春再体験



## スピーチコンテストを終えて Finishing the Region Speech Contest



スピーチコンテスト委員長 菊池悦子

今期は、日英両部門に委員長が任命されました。私共は「英語部門はすべてを英語で行う」、「審査員は全員外部の方をお願いします」という方針のもとに万全の準備を重ねてまいりました。英語70分、日本語100分の予定時間内で運ぶことができるかどうかとの心配も忘れる程、すべてが順調に行われました。審査員が甲乙つけるのが至難のわざだったとコメントを頂いたほど聴衆を魅了したスピーチでした。スピーカーの鼓動が伝わってくるような中で、熱心に静粛に耳を傾ける聴衆のあたたかさも伝わってまいりました。後日審査員の方から、コンテストもさることながら、ITCの組織、訓練、運営の見事さに加えて会場には、あたたかさやわらぎがあり感動したと感想を述べられました。多くの方々に印象をあたえ、余韻を残したリージョンスピーチコンテストだった！と深く感謝を思い出となりました。

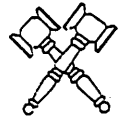
Etsuko Kikuchi, Speech Contest Chairman

This term each chairman has been appointed for both the English and Japanese Speech Contests. Our policy was to do the English part all in English and choose all judges other than ITC members.

Everything went well so that we completely forgot to worry about the time limit of 70 min (English part) and 100 min (Japanese part). The audience was attracted by the speeches, and a judge commented that it was too difficult to discriminate among them. The speeches conveyed each speaker's enthusiasm very well, as the audience was warmed by listening to them eagerly and quietly. Some days later one of the judges gave her impression of the well-organized, trained, managed ITC and also the warmth and calmness throughout the hall besides the Speech Contest itself.



## 大会コーディネーター謝辞 Message from Conference Coordinator



コーディネーター 泉 和子  
コ・コーディネーター 柳川 公子

第8回日本リージョン大会は神戸に於て国際会長をお迎えして5月30日のCMTで幕を開け6月1日に大会を無事終了いたしました。皆様方にはようこそお越し下さいまして本当に有難うございました。年に一度の会員相互の交流の場として又一年間の研修のしめくくりとしてこの大会を有意義にお過ごし頂きましたでしょうか。余りにも大勢の会員やゲストの方をお迎えして嬉しい悲鳴をあげながらも準備委員会一同一生懸命お世話をさせて頂いた積りです。規模が大きくなる程大会の準備も複雑化して参りますが、何よりも沢山の方々のご参加を得たことは最大の喜びであり、又、日頃のITCの訓練の成果を充分に発揮し一丸となつてご協力を頂いた準備委員会の方々のご努力に敬意を表し心からの御礼を申し上げます。私共二人は楽しみながら事を進めることに意義を感じ、大きなものを創り出す苦勞を学び、出来上った喜びを感じる最良の経験をさせて頂いたことに感謝してお礼のごあいさついたします。

Kazuko Izumi, Coordinator & Kimiko Yanagawa, Co-coordinator

The 8th Japan Region Conference opened its program from CMT on May 30 with the attendance of ITC International President and ended successfully on June 1. I would like to extend my sincere appreciation to every member who attended the conference. I hope the annual conference was worth your attending to promote mutual friendships among members and to reassure your training during the year.

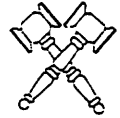
The increase of the number of the participants including members and guests was our great joy; but at the same time, it was our great concern whether we could satisfy all. The bigger the scale of the conference is, the more complicated the preparation becomes. In spite of many difficulties, the Preparation Committee members worked diligently and cooperated in organizing the conference, fully using their skills learned in ITC.

I would like to express my thanks to the committee members for offering the best of their ability. The co-coordinator and I have enjoyed every process of the work and are grateful for having the chance to learn the difficulty and the joy of creating a conference.

Thank you very much.



# 1990年度リージョン会則修正 Bylaws Amendments



会則・決議委員長 秋山 美代子

1990年リージョン大会においてリージョン会則及び常規は下記の通り修正されました。  
これらは1990年8月1日より発効いたします。但し、No20第9条委員会とその任務 B項5のみ  
1990年6月1日より発効。

1. 会則 第4条 財務 A項

このリージョンは独立会計とする。ただし増設及びリージョン スピーチコンテスト優勝者が

2. 会則 第4条 財務 C項 大会登録費:

リージョン大会は登録費その他で運営し大会準備委員会が予算を組み役員会の承認を得る。  
尚、大会欠席者は大会登録費の1/3を限度として協力金を負担する。……

3. 会則 第4条 財務 D項 経費:

役員、常任委員の経費、スピーチコンテスト優勝者補助金は、予算で定められる。

4. 会則 第4条 財務 (E項が付加される)

E項 会計年度: 会計年度は8月1日から7月31日までとする。

5. 会則 第5条 選挙及び役員の任務 A項 2.

……但し、リージョンの役員はその所属するクラブの会員が誰もリージョン大会に出席してい  
ない場合、所属するクラブがその役員を派遣員と認可した場合のみ投票権を有する。

6. 会則 第5条 選挙及び役員の任務 A項 4.

有資格クラブから選出されたリージョン役員は万一その所属するクラブの人数が……

7. 会則 第5条 選挙及び役員の任務 B項 1. c.

所属するクラブから指名を受けたものであること。

8. 会則 第5条 選挙及び役員の任命 C項 指名 1.

……選出された指名委員会はリージョン大会に続く次年度に活躍する。

もし欠員が生じた場合は次点者を繰り上げる。ただし該当者がいない場合は指名委員会候補者名  
簿の中から全所属クラブの郵便投票により補充する。

9. 会則 第5条 選挙及び役員の任務 F項 2.

いずれの選出役員も同一役職に継続して就任することは出来ない。

10. 会則 第5条 選挙及び役員の任務 H項 1. e.

カウンスルの分割を助ける。

11. 会則 第5条 選挙及び役員の任務 H項 3.

第一副会長は

a. プログラム・教育委員会の委員長をつとめる。

b. リージョン役員会により委任されたその他の任務を果たす。

12. 会則 第5条 選挙及び役員の任務 H項 4.

4. 第二副会長は

a. 会員委員会の委員長をつとめる。

b. リージョン役員会により委任されたその他の任務を果たす。

13. 会則 第5条 選挙及び役員の仕事 H項 6. f.  
 会計年度末またはリージョン役員会の要請があれば会計監査のため帳簿と財務報告書を提出する。
14. 会則 第5条 選挙及び役員の仕事 H項 6. g.  
 g. リージョン大会で財務報告をする。また要求があれば監査のために決算報告書を作成する。
15. 会則 第7条 A項 会議  
 リージョンの所属クラブはリージョンの役員会により……
16. 会則 第7条 B項 目的 4.  
 スピーチ、口頭及び文書によるコミュニケーション、指導力の養成、及び組織に関する……
17. 会則 第7条 E項 定足数：  
 このリージョンの定足数は有資格クラブ過半数の所属クラブにより成立する。
18. 会則 第8条 役員会  
 A項 構成：リージョン役員会は……  
 B項 会合：役員会は会長の……  
 C項 権限：役員会は会則や……  
 D項 定足数：議事の採決にあたっては……
19. 会則 第9条 委員会とその任務 B項 4. c.  
 大会60日前までにリージョン役員会と所属クラブに決議案と修正案を提出する。
20. 会則 第9条 委員会とその任務 B項 5. 大会準備：  
 大会準備委員会は大会コーディネーターの指示の下にリージョン会長の承認を得て、リージョン大会のためのすべての準備をする。剰余金は次期大会準備のためリージョン通常会計に繰越す。（この項 1990年6月1日より発効）
21. 会則 第9条 委員会とその任務 B項 6. b.  
 ……15日以内にリージョン会長に結果を報告し、各所属クラブに公表する。
22. 会則 第11条 A項  
 ……また郵便にて所属クラブの2/3の賛成投票があれば修正することができる。  
 ……60日前までに所属クラブに文書で提出されなければならない。
23. 常規 2. 年会費：  
 ……8月1日またはそれ以前にクラブによって支払われるものとする。2月1日またはそれ以後入会した会員は年会費の半額を支払う。6月1日以後7月31日までに入会した会員は次年度会費を納めるが、その年度の会報は実費とする。
24. 常規 8. 修正：  
a. これらの常規は、前もって通知されない場合は2/3の賛成投票、あるいは前もって通知された場合は過半数の賛成投票がある場合、改正または廃止することができる。特に明記されない限り、リージョン大会で採択された新しい常規や修正はすべてそのリージョン大会のあと8月1日から有効となる。  
b. 本規則のいかなる項目もITC会則と矛盾しないものとする。  
c. ITC会則に修正がなされ、それが本常規に該当する場合またはITC会則との矛盾が生じた場合、本常規はITC年次大会で投票により採択された修正どおり自動的に修正される。

Miyoko Akiyama, Bylaws & Resolutions Committee Chairman

Japan regional bylaws and standing rules were amended as follow at the 8th Japan regional conference.

1. **ARTICLE IV. SECTION A**  
This is about a translated wording.
2. **ARTICLE IV. FINANCING. SECTION C: CONFERENCE REGISTRATION FEE**  
Amend by striking out "to assist in the cost" in the first line.
3. **ARTICLE IV. SECTION D.**  
This is about a translated wording.
4. **ARTICLE IV. FINANCING.**  
Amend by adding a new SECTION E:  
**SECTION E. FISCAL YEAR.** The fiscal year shall be August 1 through July 31.
- 5, 6, and 7. These are all about translated wordings.
8. **ARTICLE V. ELECTION AND DUTIES OF OFFICERS SECTION C. NOMINATIONS 1.**  
Amend by adding new sentences:  
A vacancy shall be filled by advancing the candidate who had the second largest number of votes. If there is none, it shall be filled by mail vote from the slate by the member clubs.
9. **ARTICLE V. SECTION F. TERM 2**  
Amend by inserting "elected" between "regional" and "officer".
10. This is about a translated wording.
11. **ARTICLE V. SECTION H 3**  
Amend by adding a new paragraph "a" (the present one to become "b").  
a. Serve as chairman of program-education committee.
12. **ARTICLE V. SECTION H 4**  
Amend by adding a new paragraph "a" (the present one to become "b").  
a. Serve as chairman of membership committee.
13. **ARTICLE V. SECTION H 6-f**  
Amend by inserting "and financial statement" between "books" and "for audit", and by striking out "demand" and inserting "request".  
  
f. Submit books and financial statement for audit at the end of the fiscal year and/or on request of the regional board.
14. **ARTICLE V. SECTION H 6-g**  
Amend by striking out "and, if required, prepare a financial statement for audit."  
g. Prepare a financial statement for the regional conference.
- 15, 16 and 17. These are about translation wordings.
18. **ARTICLE VIII. BOARD OF DIRECTORS**  
Amend by inserting "COMPOSITION", "MEETINGS", "AUTHORITY", and "QUORUM" between each SECTIONs A, B, C and D, and their sentences.
19. This is about a translation wording.
20. **ARTICLE IX. COMMITTEES AND THEIR DUTIES SECTION B 5 Conference Coordinating**  
Amend by adding a new sentence:  
Any surplus funds shall be temporarily put into the regional general fund and forwarded to the conference coordinating committee of the next term.  
(To be effective on July 1, 1990)
21. and 22. These are about translation wordings.
23. **STANDING RULE 2. ANNUAL DUES.**  
Amend by striking out "March 1" and inserting "February 1."
24. **STANDING RULE 8. AMENDMENTS**  
Amend by adding new paragraphs "b" and "c" (present paragraph to be lettered "a").  
b. No section of these Standing Rules shall be in conflict with the ITC Bylaws.  
c. If any amendment to the ITC Bylaws makes a corresponding amendment to these Standing Rules necessary, or causes them to be in conflict with the ITC Bylaws, these Standing Rules shall be deemed to be amended automatically according to amendments adopted by vote of the international convention body.

「新しいリージョン会則の必須条項は“スタンダードリージョン会則1989”にあわせました」

# 哀 悼

## In Memory

ジーン・ジョイス

〔プロフィール〕 1966年関西学院に英語教師として赴任。1969年1月阪神クラブに入会。1989年20年会員として表彰される。その間リージョン、カウンスル会長として、又国際クラブとしてのITCを日本に定着させた基礎づくりに、各部門の活躍を通じて大きく貢献された。

“ありがとう ジーン・ジョイス”



武田 寿子(阪神)

ジーン ありがとう！ 覚えていますか、ジーン？ リージョンもなく、たった3クラブでカウンスルが発足した1973年の頃のこと。ITCはまだヨチヨチ歩きでしたが、クラブ増設、議事法翻訳、プログラムの多様な大きな夢をたくさん抱いていました。「まだしたい事がいっぱいあります」貴方の口ぐせでしたね。

貴方が癌との勇気ある闘いを終え、天に召されたとき、私は失ったものの大きさに愕然としました。5月30日、貴方自身が準備した告別式は5月の光と緑の中花にかこまれまるで天国への凱旋のようでした。準備の大切さを最後まで私たちに教えて下さいましたね。

翌日開催された第8回リージョン大会は、53クラブ、642名という盛大なものでした。貴方が愛したITCは今しっかりと根つき、5月の若木のようにすくすくと伸びています。

覚えていますか、第2回のリージョン大会、クラブ旗の入場行進、楽しかったですね。会長の貴方の斬新なアイデア、私たちは目を見はり、夢中になって取り組みました。貴方はリーダーシップを発揮、自宅を開放して各会員のコミュニケーションを図り、準備に多くの時間を費やして下さいました。

シドニーの世界大会に日本代表として、初めてスピーチコンテストに参加したのも貴方でしたね。それ以後世界大会は私たちにとって身近になり毎年多くの会員が参加し活躍するようになりました。ユーモアを忘れず前進、新しい事への挑戦、try and try again と励まして下さった笑顔、今も目に浮びます。貴方が痛みをこらえて最後に植えたお庭の球根のように、ITCに蒔いたリーダーシップの種、あふれるような愛、友情、コミュニケーション、ユーモアはいつまでも貴方の思い出と共に毎年美しい花を咲かせることでしょう。

ありがとう、ジーン。

Thank you, Jean

Toshiko Takeda, Hanshin Club

Jean, do you remember? It was 1973 when the Council started with no Region but only three clubs. Although ITC was just a baby, we were full of dreams; extension of clubs, translation of the Parliamentary Procedure, diversification of programs, etc. You used to say, “we have so much more to do.”

When you put a period to the brave fight against cancer and were sent to Heaven, I was shocked by the sudden loss of your great existence. On May 30th, the funeral, which you have prepared for yourself, was filled with lots of flowers, green, and sunshine, as if it had been a triumphal return to Heaven. It was your last lesson about the importance of preparation, wasn't it? The eighth Regional Conference was successfully held by 53 clubs, 642 members on the next day. ITC which you loved so much has taken firm root and been growing just like young leaves of May.

Do you remember? Marching with the club banners was very exciting at the second Regional Conference. The new and original idea of yours delighted us and we worked very hard for it. Being a president, you took a great step in leadership by having an open house to improve communication among the members and spending much time and effort for preparation.

It was also you that took part in the speech contest of ITC Convention at Sydney as the first representative of Japan. Since then, your initiative has inspired many other members to participate in International Conference every year.

When I close my eyes, I can still see your warm and encouraging smile to remind us to progress, to challenge, to always have a sense of humor, and to try and try again! Just like those bulbs which you have planted in your back yard despite the great pain, your seeds of leadership, love, friendship, and communication in the soil of ITC will produce beautiful flowers every year which will always be appreciated and remembered with wonderful thoughts of you. Thank you, Jean!



## 酒井純子さんを偲んで

近江恭子(北摂)

何処へ行ったの純子さん。きっと全てのものから解放されて天国にいらっしゃるのね。

貴女は純粹で素朴な方でした。特に外国の友達には同じ人間として接し、肌の色の違いを感じさせませんでしたネ。ITC歴も三年となり、やっと慣れて、これから共に成長していこうと語っていたのに……。貴女を失ってとても淋しいです。でも残された者の務めとして頑張ってお生きて行きます。どうか静かにおやすみ下さい。

〔酒井さんプロフィール〕北摂クラブチャーターメンバー、クラブ第1副会長

## On the Death of Mrs. Sumiko Sakai

Kyoko Oomi, Hokuestu Club

Where have you gone, Sumiko? I'm sure you are free from everything and you are now in heaven. You were a pure and naive person. Especially you associated with foreign friends as the same kind human being. So you never made them feel that they had a difference of skin color. We have learned at ITC for 3 years and we got accustomed to ITC's way gradually. We made a promise to develop ourselves together through ITC. You are not here now, and we miss you very much. To develop ourselves fully remains the duty of those of us left here, so we will do our best. Please sleep peacefully.

## 角田友子さんを偲んで

小山一子(宝塚)

5月20日午後1時、天気予報では雨になると報じられていたのに、楠会館は、そよ風の吹くよいお天気となりました。祭壇から、ローズ色のスーツに黒い帽子をかぶり、にこやかにほほえみかける貴女は「みんなどうしたん、元気ィ…」と語りかけているようでした。いつも悠然と足を組み、美味しそうにタバコをくゆらせていたあなた。



美しくお化粧をし、花々と大切な人々に囲まれて「ホナ サイナラ…」と旅出ってしまったあなたのように感じたのは、私一人だったでしょうか?

昨年ご一緒したリージョン大会は、今年はポートピアホテルで無事に終わりましたが、今、あなたは次の世で、何をしておいらっしゃるのでしょうか。(ご冥福をお祈りいたします)

〔角田さんプロフィール〕宝塚クラブチャーターメンバー、カウンスル派遣員

## On the Death of Mrs. Tomoko Kakuta

Kazuko Koyama, Takarazuka Club

The time was one o'clock in the afternoon on May 20. In spite of bad weather forecast, it was a fine day with a gentle breeze. You in a rose-colored suits and a black hat were smiling and seemed to say, 'What is the matter with you all? How are you?' from an altar.

You always crossed your legs leisurely and loved to taste tobacco. Your face was made up nicely as before and was surrounded by many flowers, your lovely family and close friends. I'm sure I'm not the only one who felt that you had just left for Heaven freely by saying, 'Good bye, now!'

Last year we attended the Region Conference together. It was held at Portopia Hotel successfully this year, too.

Now what are you doing in Heaven? (May your soul rest in peace.)

甲南クラブ 長 瀬 玲

先生の舞う「娘道成寺」で終演した日舞会のあと、私は記念撮影のため泣きべその化粧を直してもらい母に手をひかれ、30人のお弟子の最前列の真ん中にチョココンと立っていた。出番を終えた弟子らは、きつく締めた衣装をぬぎ、そろいのゆかたに着がえてこの撮影を待っている。私は踊った「菊娘」のお厚く袖口とすそに真綿が入りピカピカの絹に大輪の菊が縫い取られた衣装を脱ぐのはいかにも惜しかった。稚児のカツラも菊のあみ笠もそのままだった。脱ぎなさい、着替えなさい、といわれて泣きに泣きとうとうそのままを通してそれでもあみ笠だけははぎ取られブスツとしているのである。その翌年の会ではさすが六つになって分別がついたかそろいのゆかたで写真におさまっている。踊りの先生はご近所の、今思えば20歳をすぎたかすぎないかのお嬢さんであった。色白のふっくらした頬にきれ長のすずしい目をしていた。5歳の私にとって生まれてはじめての「先生」であった。そこへ私は母に、時には祖母に、祖父に又、叔母につき添ってもらって通った。よくお腹の痛くなる病弱の先生の往診を兼ねて父に連れていってもらったこともあった。季節のよい頃はけいて舞台の真うしろのガラス戸が開け放されて心地良い風が入った。先生はわきに座ってレコードをかける。ぶ厚いレコードに太い針がさわるせいであろうか、「ザザーッ」とか「ジーッ」とかいつてから音が出た……。あれからどれほどの年月が過ぎただろう。まだ若かった父は懸命に大家族を養っていた。貧しい中で私達子供四人は各々大切にされ家族に盛りたてられて育ったように思う。そのなつかしい古家はマンションのかげに当時のままである。狭い庭のくすの木は切るチャンス逃がしたまま大木になっていた。先生の家も昔のままであった。「ザザーッ」とは言わないノイズレスの音もれていた。先生は今もさわやかな風を入れておけいこしているのであろう。きょう私は5歳の私に会った…。

## One of My Days —Today, I Met Myself at the Age of Five—

Rei Nagase, Konan Club

The pleasant breeze was passing on my cheeks gently and I was standing under the leafy camphor tree, listening to the Japanese traditional dance music I used to learn to dance in my childhood. It must be she who was teaching and some young children might be watching and dancing around her like I used to do. Soon I found myself in the memory land back in my childhood.

It was the day when we had a demonstration meeting so-called "Osaraikai." I was five years old then. After all performances were over, we were scheduled to have a picture taken. Everybody was in their yukata (rehearsal wear) but, Good Heavens!, I was only in that brilliant "Kikumusume" costume, standing at the center of the very first row surrounded by thirty other dance class members. According to my mother's explanation, I, a five year old naughty girl, strongly resisted to take off the beautiful costume of Kikumusume—it was certainly a beautiful one with all colorful embroidery of various kinds of chrysanthemums. Gold and silver thread woven into the embroidery made the costume even more gorgeous. Although I was in my beautiful costume, my face in the picture is crying because I had to give in to taking off the beautiful Amigasa (a hat) which went with the costume. In the picture taken the following year, I was in yukata like everyone else, proving myself to be a girl big enough to adjust myself.

My dance teacher was a young lady, a little over twenty with white, smooth skin, rich cheeks and big, beautiful, almond eyes. My mother took me to her dance studio when I became five years old. Since then I took her Japanese traditional dance lessons accompanied usually by my mother, sometimes by my grandparents and aunts. The teacher was rather weak by nature, so my father who was a doctor visited her when she got a stomachache, and I was taken to her house with him. When the weather was cheerful, the windows in back of the stage in our lesson room were wide open and we enjoyed the pleasant breeze. I still

remember the teacher sitting beside the stage, playing a thick heavy record for her students to dance. The records those days made much noise because of the poor mechanics of the player compared with the ones today.

How many years have passed since then? My beloved father was very young then, and worked very hard to support his big family. His four children, including myself, have been very happy to be brought up by parents with a lot of love and carefulness.

Nothing has changed—the old house, the stone walls of the teacher's house, and the leafy camphor tree in the small front garden.

I was standing there remembering my days a long time ago.

---

## 編 集 後 記

---

みなさまの御協力によりまして、今期最後の会報、4号をお届けすることが出来ますことを、心より感謝申し上げます。

「会報を通して、会員同士のよりよきコミュニケーションの輪を広げる」ために全委員会の委員長の皆様から原稿をいただきました。また、多くの会員の方々に文章における御参加をいただいております。お忙しい中、快くお引き受けくださりまして本当にありがとうございました。

ビリー・バルク教授は、ジョイス様に代って、沢山の英文原稿の校正をお引き受けくださいました。おかげで海外の方々に読んでいただいても誇りに思える英文の原稿となりました。

菊池悦子様(阪神クラブ)。最終号まで、コミュニケーターの沢山の翻訳文のタイピングを全く一人でお引き受けくださり、早く、正確に読みやすい原稿をお作りくださいました。おかげで美しい本が出来上がりました。

ジーン・ジョイス様(阪神クラブ)。貴女は力のかぎり会報原稿の校正をお手伝いくださいました。第一回の編集委員会にも御出席くださり、何かとアドバイスしてくださいました。貴女のお電話やお手紙に力づけられながら、私達はがんばることが出来ました。御冥福をお祈りいたします。

白村治子様(神戸クラブ)。おかげさまで日本語の校正で心配することは、ありませんでした。

高橋俊子様(六甲クラブ)は、いつも私のよき相談相手になってくださいました。

私自身、編集に携わるといふ機会を与えられ、バルク会長のよき御指導のもとで、多くの会員の方々にお目にかかることが出来、沢山の経験をさせていただいたことを喜びといたします。

1年を終わるにあたりまして、皆様に心より厚く御礼申し上げます。

編集者 立花 眞 琴 (神戸クラブ)

## POSTSCRIPT

I am grateful for the kind and friendly cooperation you have given me from the first to this last issue of the Region Magazine for this term. Following the motto, "Widen communication rings of members by means of joining and contributing to the magazine," chairpersons of all committees, as well as many members, have willingly contributed so much. The editors also thank you for giving your precious time to the magazine.

On behalf of Mrs. Jean Joyce, Professor Billy Burke proofread many manuscripts. We are proud of his work which gave the English translation a lot of class.

We could receive precious and beautifully typed articles quickly, thanks to Mrs. Etsuko Kikuchi (Hanshin) who did all of the typing from the first to the last translation of Communicators.

Mrs. Jean Joyce (Hanshin), you helped with our proofreading insofar as you were able. You attended and gave us valuable advice in the first editors' meeting. Thank you very much for your successive letters and telephone calls which encouraged us so much. We pray sincerely for your soul's repose.

Mrs. Haruko Usumura (Kobe) was responsible for proofreading the Japanese articles for the magazine, which she did with professional excellence.

Mrs. Toshiko Takahashi (Rokko) worked closely with me and offered good advice.

As for me, I am very happy to have been appointed editor during this term. I had a lot of chances to meet many members and to acquire much experience. Again, in ending this term, I wish to express my appreciation to all of you who helped make each edition successful.

Makoto Tachibana, Editor (Kobe)

勝利の手札は揃った  
次に打つ手、打つ手段  
勝利への手札  
夢と希望  
誇りを持って  
私達の成功は必然  
成功の鍵は  
I・T・C

**We've got the winning combination  
The Ways and the Means  
The Winning Combination  
Our Hopes and our Dreams  
With pride in what we stand for  
We're destined to succeed  
The Winning Combination  
Is ITC!**